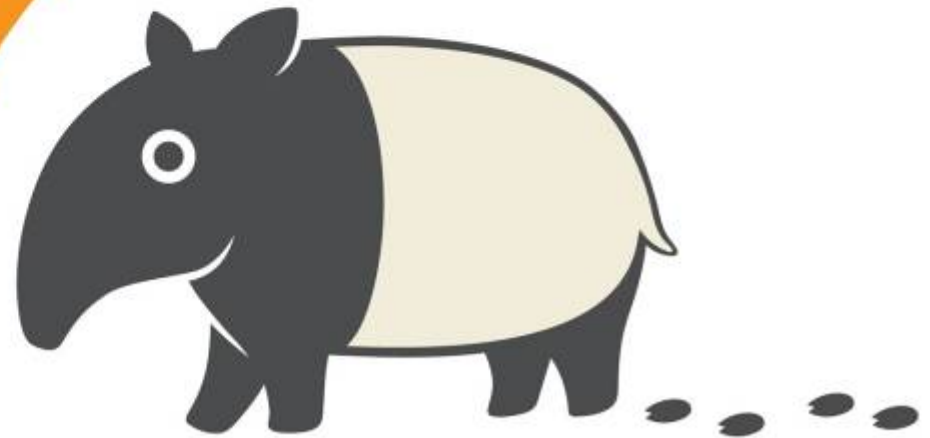


Q-Board

証券コード 3824

第25回 福証IRフェア

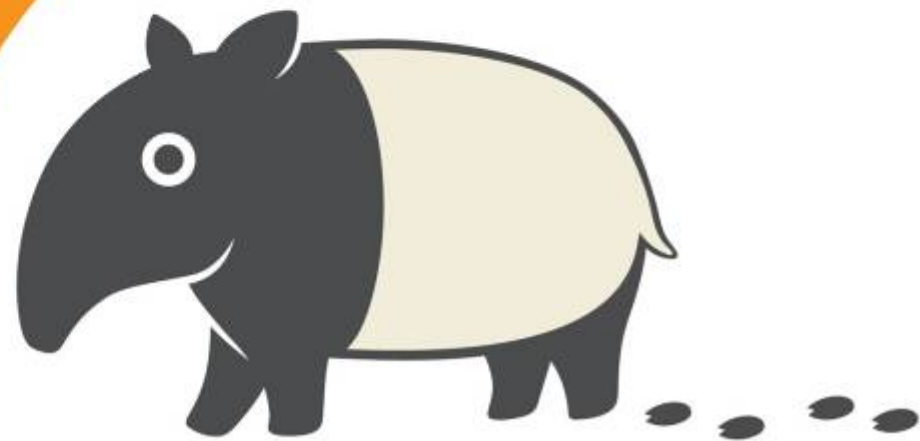
メディアファイブ株式会社



I. 会社概要	3	V. マーケット環境	25
会社概要	4	情報サービス産業界のここ数年の動向	26
会社の沿革	5	ソフトウェア業務への設備投資(産業別)	27
会社の沿革	6	ソフトウェア業務の受注高(地域別)	28
会社の沿革	7	都道府県別就業者の分布状況	29
企業理念	8		
<hr/>		<hr/>	
II. 組織体制	9	VI. 中期経営計画	30
組織図	10	「Action Plan 2012」策定の背景	31
組織変更の内容	11	「Action Plan 2012」の概要	32
<hr/>		中期経営計画の修正	33
III. 事業紹介	12	「Aura Action」の追加	34
SI (System Integration) 事業	13	中期経営計画数値の修正	35
SI福岡グループ・SI東京グループ	14		
ソリューショングループ	15	VII. 今後のビジョン	36
Bakoon!!グループ	16	ITプロ育成スクールの展開	37
Bakoon!!サービスの特徴	17	ITプロ育成スクールの拠点拡大	38
スクール事業	18	株式会社匠工房の子会社化	39
<hr/>		Bakoon!!サービスとの連携	40
IV. 平成23年5月期決算報告	19	Bakoon!!サービスの多様化	41
平成23年5月期決算概要	20	地方のIT力の活用	42
平成23年5月期決算概要	21		
8年間の推移(売上高)	22	挨拶	43
8年間の推移(経常利益)	23		
8年間の推移(当期純利益)	24		



1. 会社概要



会社名 メディアファイブ株式会社（英文名:Media Five Co.）

設立年月日 平成8年6月

代表者 代表取締役社長 上野 英理也

本社所在地 福岡市中央区薬院1丁目1番1号 薬院ビジネスガーデン6階

資本金 175,825千円(平成23年5月末現在)

従業員数 129名(外、平均契約社員数 23名) (平成23年5月末現在)

事業内容 ①SI (System Integration) 事業: ソフトウェアの受託開発、IT技術者の提供、Bakoon!!サービス

②スクール事業: ITプロ育成スクール運営



- 平成 8年 6月 福岡県福岡市において、SI事業(ソフトウェアの開発受託)を目的として有限会社メディアファイブを設立。
- 9年 8月 メディアファイブ株式会社に組織変更。
- 12年12月 一般労働者派遣事業認可を取得(許可・指定番号:般40-01-0197)。SES事業(ITエンジニアの提供・平成23年6月よりSI事業へ統合)を開始。
- 13年 1月 研修事業として、有料研修サービスを開始。
(平成16年12月より無料化し、平成17年5月に有料研修サービス終了)。
- 16年 3月 ネットワーク事業として、ネットワークセキュリティ製品のサポート窓口業務受託、サーバの提供及び保守・運用サービスを開始。



- 平成 18年10月 福岡証券取引所Q-Board市場へ株式上場。
- 19年 5月 プライバシーマーク付与認定(認定番号:第18820138 (02) 号)。
- 19年11月 東京営業所新設。
- 20年 1月 企業向けITエンジニア育成事業開始。
(平成20年11月よりスクール事業を開始し統合。)
- 21年 6月 株式会社ゲッティコミュニケーションズ(現GMHoldings株式会社)、
株式会社CNBroadcastingと業務提携。
- 22年 2月 スクール事業にて緊急人材育成支援事業訓練開始。



- 平成 22年 9月 オフィス巡回型エンジニアリングサービス「Bakoon!!(獏雲!)」開始。
- 22年10月 福岡本社を福岡市中央区薬院へ移転。
- 22年11月 東京営業所を東京都港区東新橋へ移転。
- 22年12月 SI事業部において「ISO/IEC27001:2005」認証取得
(審査登録番号:IA100814)。
- 23年 7月 株式会社匠工房を子会社化。

⋮

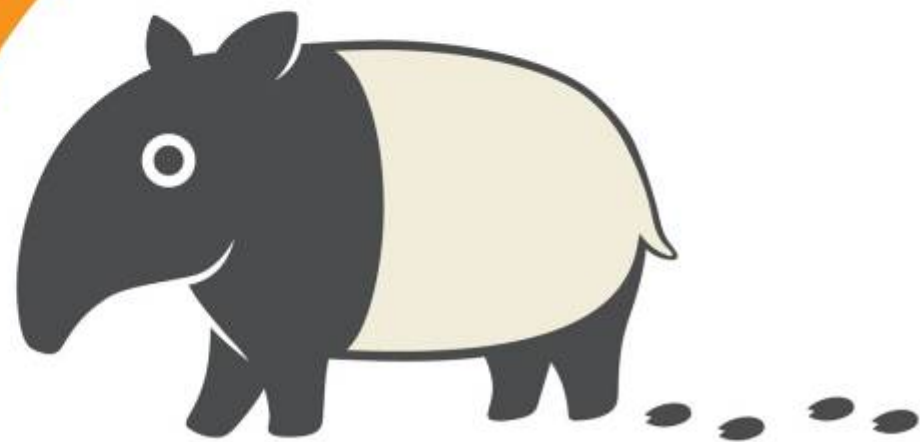




「 優秀なエンジニアを九州・福岡から輩出し、
最高のサービスを顧客に提供することにより、
IT技術を文化として広く世界に伝達する。 」

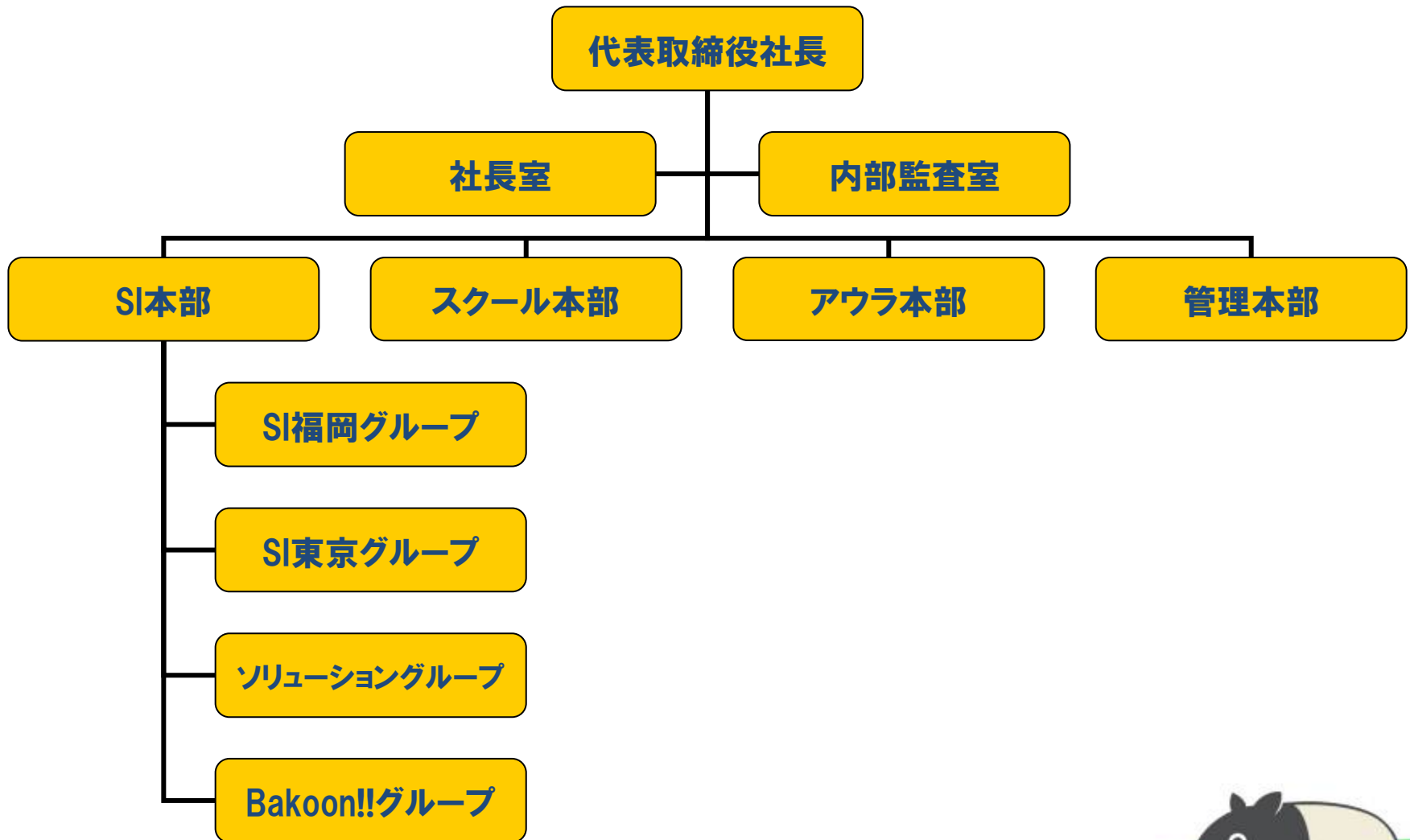


II. 組織体制



組織図

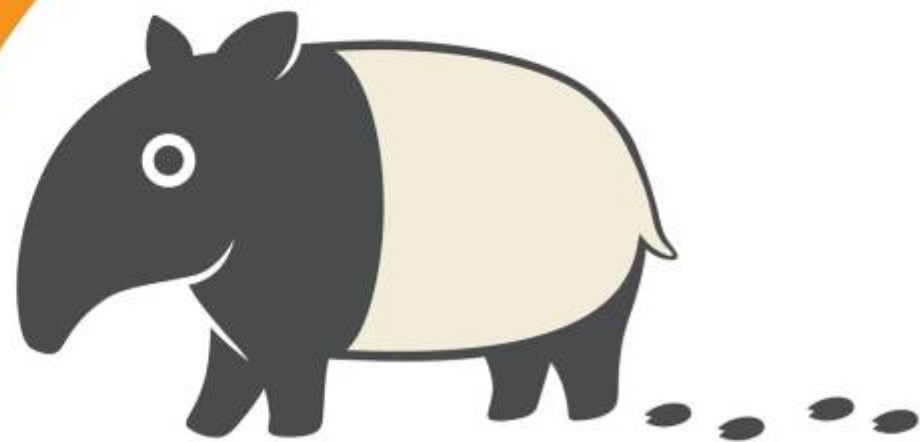
Media Five Co.



- ◆ SI本部内でのITエンジニアの活用を高める。
- ◆ グループの業務推進の強化を図る。
- ◆ 4つのグループが相互に協力し、総合的なシステムインテグレーション企業を目指す。
- ◆ スクール本部では、当社社員の育成に専念し、優秀な人材確保の強化を図る。
- ◆ 新設したアウラ本部では、全社的な採用の強化を図る。また、人材派遣事業や有料職業紹介事業の推進を行う。

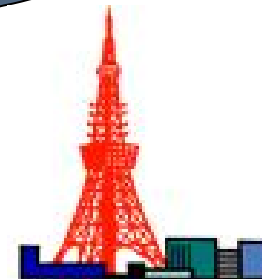
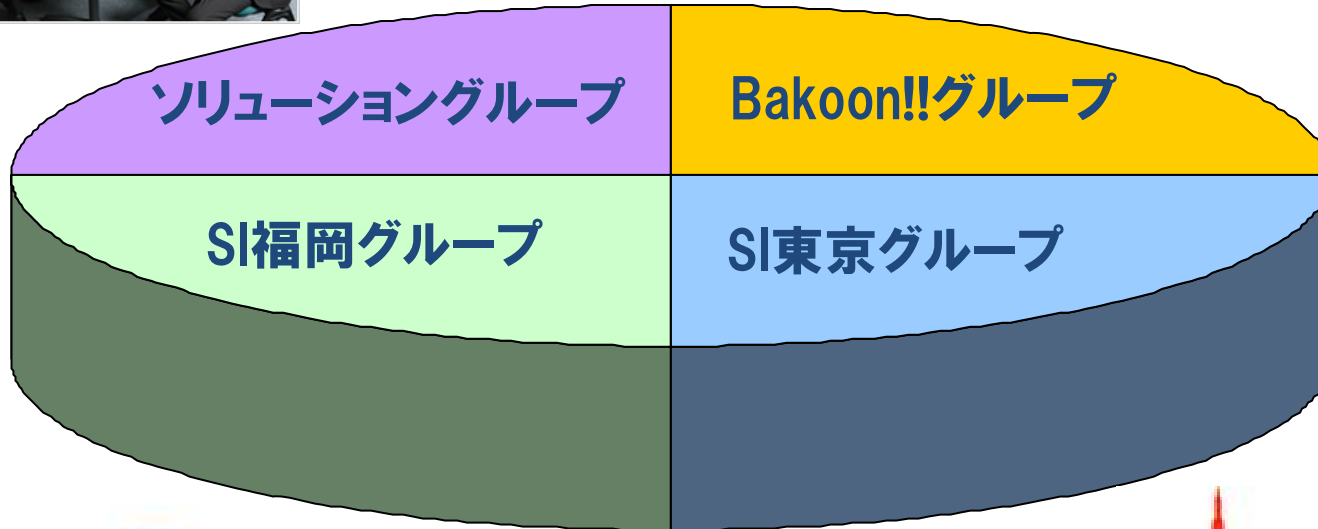


III. 事業紹介



SI (System Integration) 事業

Media Five Co.

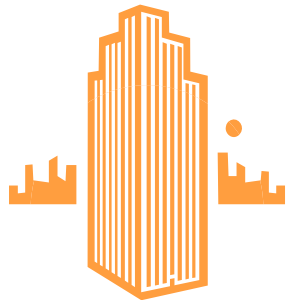


SI福岡グループ・SI東京グループ

Media Five Co.

- ◆ プログラマー、システムエンジニア等のITエンジニアを顧客へ提供する。
- ◆ 主な対象業務は、プログラム製造業務やネットワーク保守業務。
- ◆ 開発言語は、Web系の言語(Java、C#等)が主流。

お客様へ提供



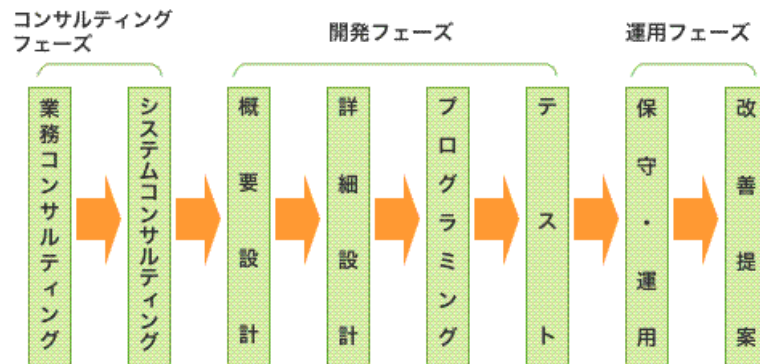
育成



採用



- ◆ 顧客の問題点をITで解決に導く。
- ◆ 対象システムはWeb系の各種システム。
- ◆ 近年の受注案件は、学習塾向けの売上管理システム、キャノンITソリューションズ株式会社のE-Mail誤送信防止のパッケージ製品、EDIサーバ開発等を行っている。
- ◆ 司法書士事務所向けイントラネットを製作し、同業者へのクラウドサービス展開を検討中。



- ◆ Bakoon!!サービスとは
情報システム部門がない、若しくは不安を感じている
中小企業向けに、ITエンジニアが巡回し、OA機器の
保守・運用・管理を代行するサービス。
- ◆ Bakoon!!のネーミング
当社のロゴマークは、バクを採用してるが、お客様が
困っているときに、バクが雲(キン斗雲)に乗って
駆けつけ、解決するさまに重なっている。



◆ Bakoon!!サービスの特徴

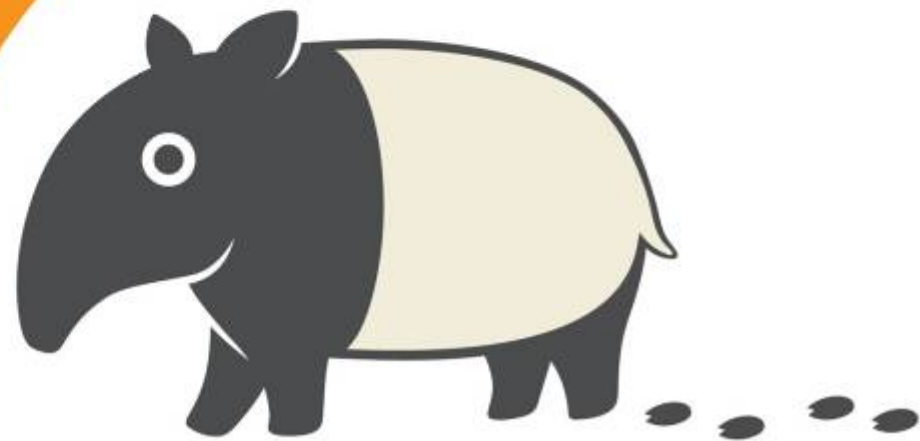
- ① IT相談・診断で、問題点抽出
- ② 訪問・巡回パトロールで、日常の課題解決
- ③ 電話サポートで、社内の専門家のサポート不要
- ④ 導入効果
(コスト削減・業務効率アップ・社内IT安心利用)



- ◆ 一般の受講生や企業研修として他社の社員を受入れ、プログラミング研修を実施する事業。
- ◆ 平成12年から開始したITエンジニア育成システムを踏襲しており、10年以上の実績を持っている。
- ◆ 近年は、当社のスクールが緊急人材育成支援事業訓練として認定され、1クラス15名～30名規模のWebプログラミング研修・クラウドエンジニア研修を実施。



IV. 平成23年5月期決算報告



平成23年5月期決算概要

Media Five Co.

(単位:千円)	平成23年5月期 決算	前年同期比
売上高	764,225	-8.0%
SES事業	665,049	-10.7%
SI事業	66,316	-6.7%
スクール事業	32,859	+119.0%
売上総利益	274,850	-9.9%
総利益率	36.0%	-0.7%
販売管理費	339,036	+6.3%
販売管理費比率	44.4%	+6.0%
営業利益	-64,186	—
経常利益	-35,513	—
経常利益率	-4.6%	—
当期純利益	-51,775	—

SES事業

長引く景気後退の影響を受け、契約社員・派遣社員を中心に当社に在籍しているITエンジニアが減少していたことが要因となり、ITエンジニアの稼働者数を増加させることが出来ませんでした。その結果、売上高が10.7%減少いたしました。

SI事業

地場企業や東京本社のキャノンITソリューションズ株式会社からの開発案件受注については概ね適正にプロジェクト運営が出来ました。しかしながら、企業のIT関連投資は抑制傾向にあり、受注金額を伸ばすことが出来ませんでした。その結果、売上高は6.7%減少いたしました。

スクール事業

スクール事業において、緊急人材育成支援事業訓練の受講者数が増加いたしました。その結果、売上高は119.0%増加いたしました。



平成23年5月期決算概要

Media Five Co.

(単位:千円)	平成23年5月期 決算	前年同期比
売上高	764,225	-8.0%
SES事業	665,049	-10.7%
SI事業	66,316	-6.7%
その他事業	32,859	+119.0%
売上総利益	274,850	-9.9%
総利益率	36.0%	-0.7%
販売管理費	339,036	+6.3%
販売管理費比率	44.4%	+6.0%
営業利益	-64,186	—
経常利益	-35,513	—
経常利益率	-4.6%	—
当期純利益	-51,775	—

売上総利益

売上高の減少に伴い、売上総利益も9.9%減少いたしました。

販売費及び一般管理費

SI事業において、お客様(エンドユーザー)への営業力・提案力の強化を行うために、営業担当者を増加させることと、Bakoon!!サービスエンジニアの育成等に積極的に投資を行いました。その結果、販売管理費が6.3%増加しております。

経常利益・当期純利益

売上高の減少に伴い、売上総利益が減少したことに加え、事業の体質改善に向けて、人員の投入や設備投資に積極的に投資を行い、販管費が増加いたしました。その結果、64百万円の営業損失、35百万円の経常損失、51百万円の当期純損失になりました。尚、稼働の無いITエンジニアに対して、休業及び教育訓練を実施して、助成金収入として営業外収益29百万円を計上しております。



8年間の推移(売上高)

Media Five Co.

(単位:百万円)

1,200

1,000

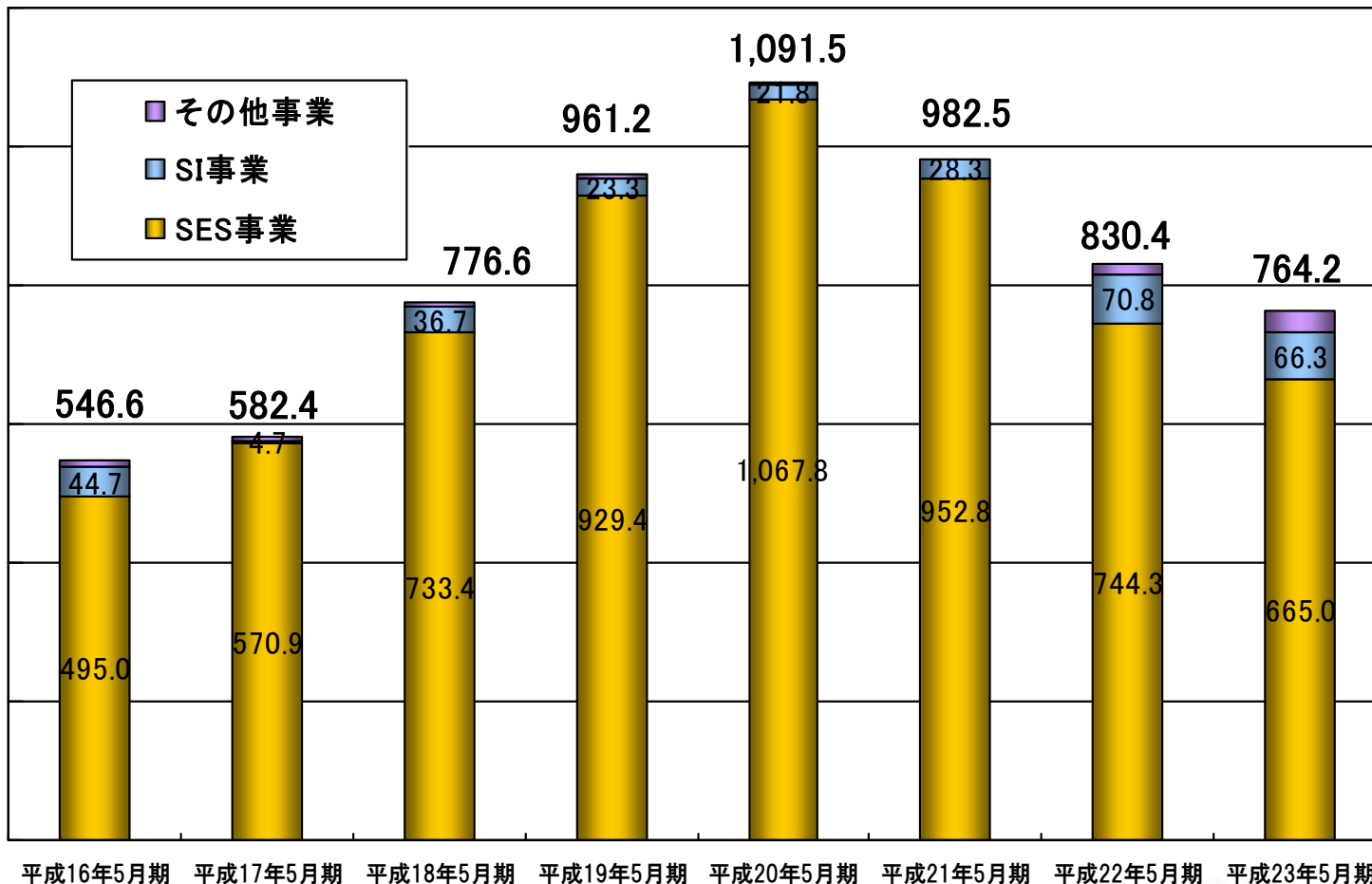
800

600

400

200

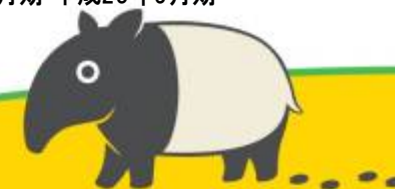
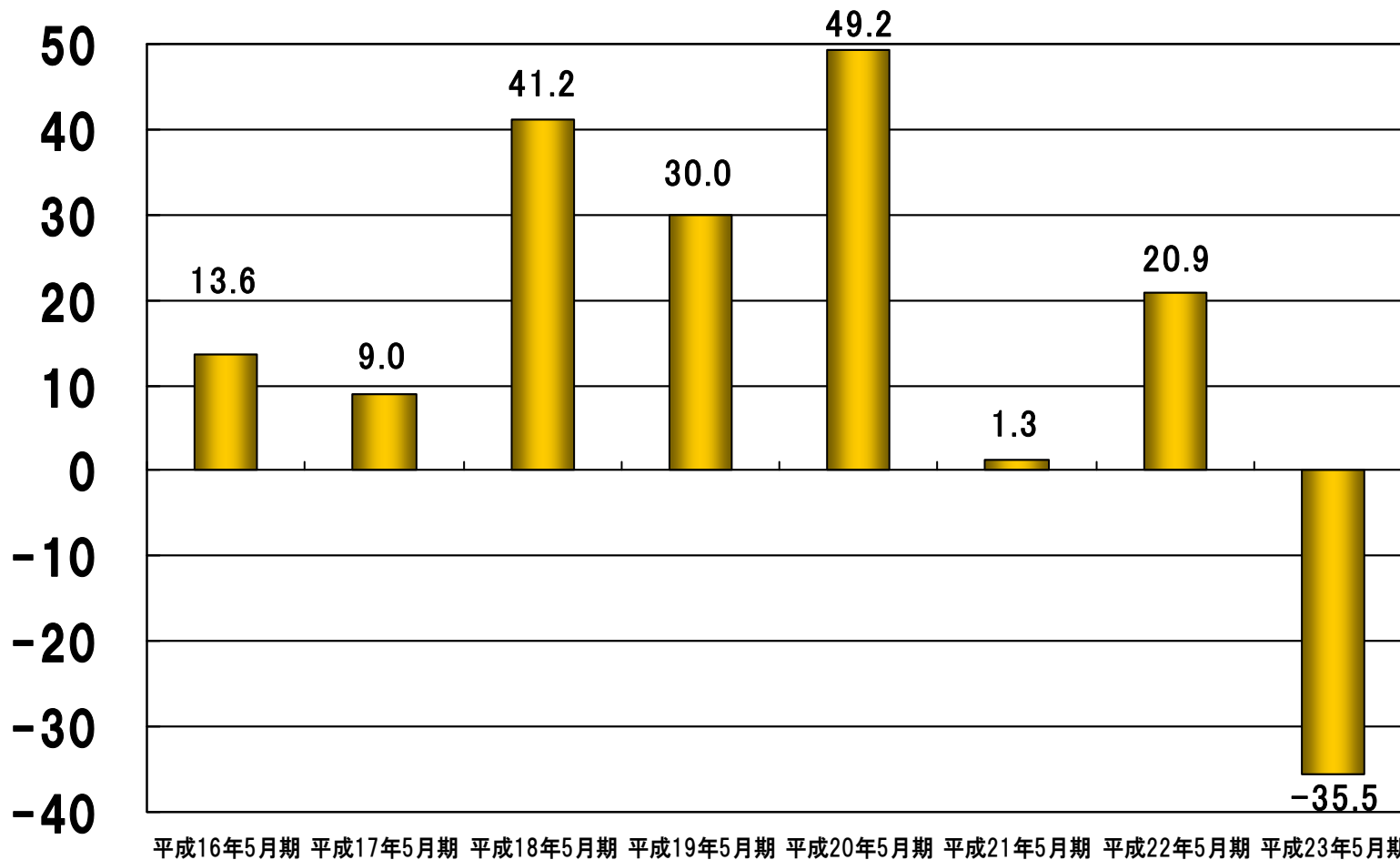
0



8年間の推移(経常利益)

Media Five Co.

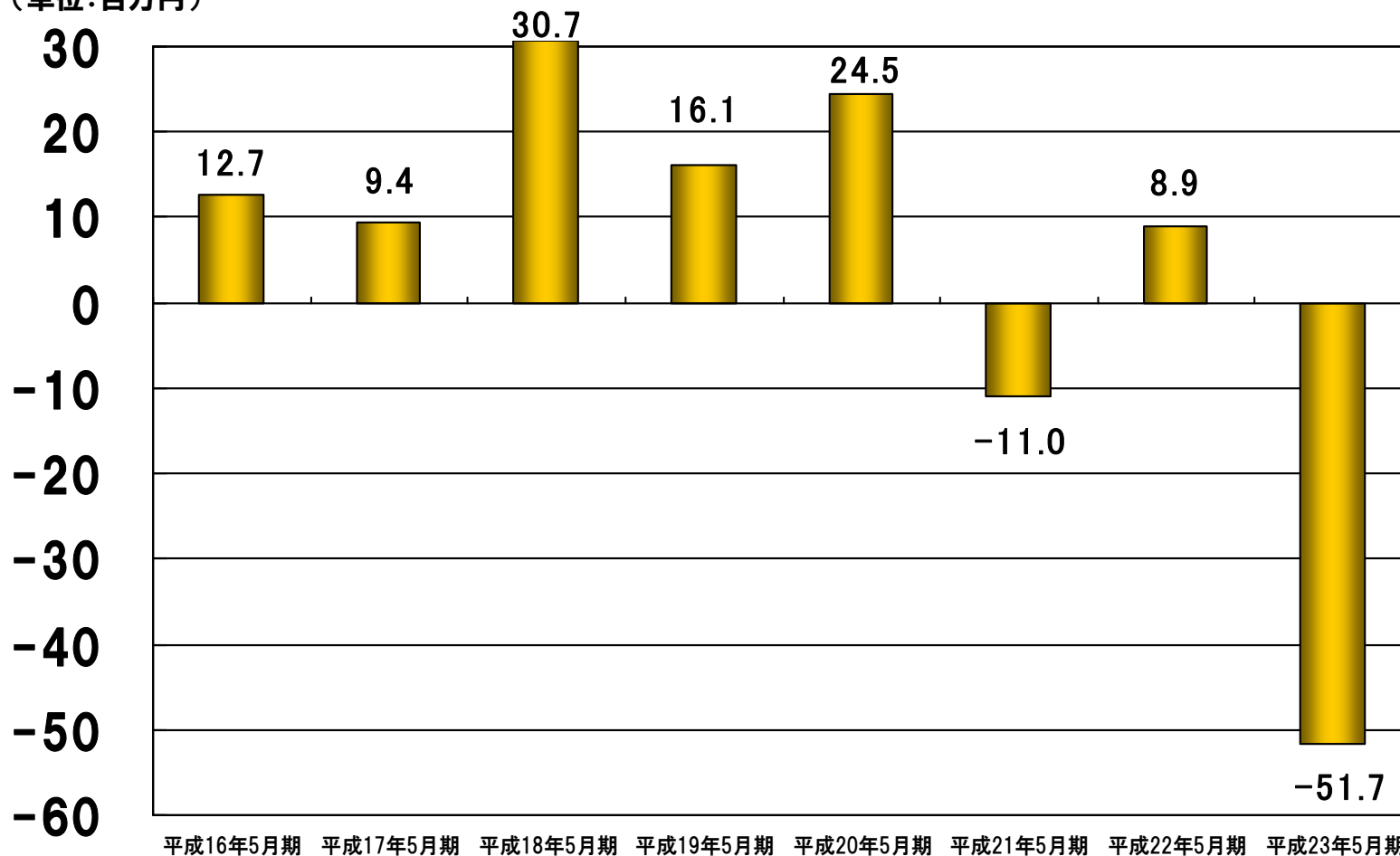
(単位:百万円)



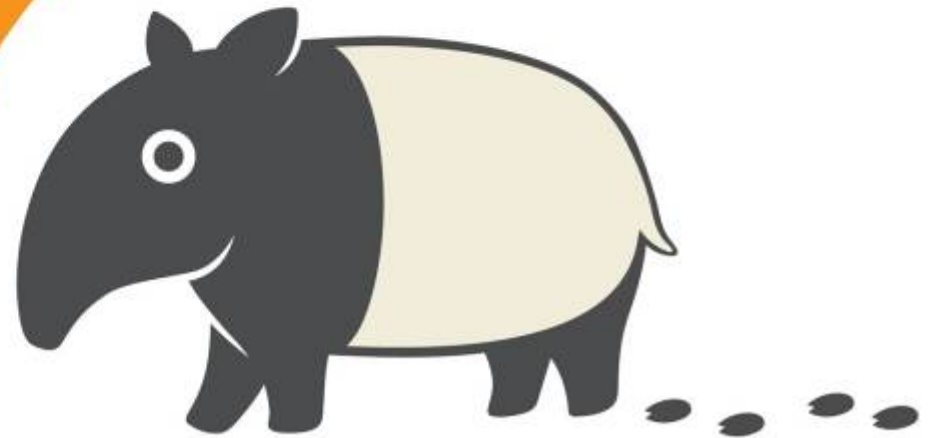
8年間の推移(当期純利益)

Media Five Co.

(単位:百万円)



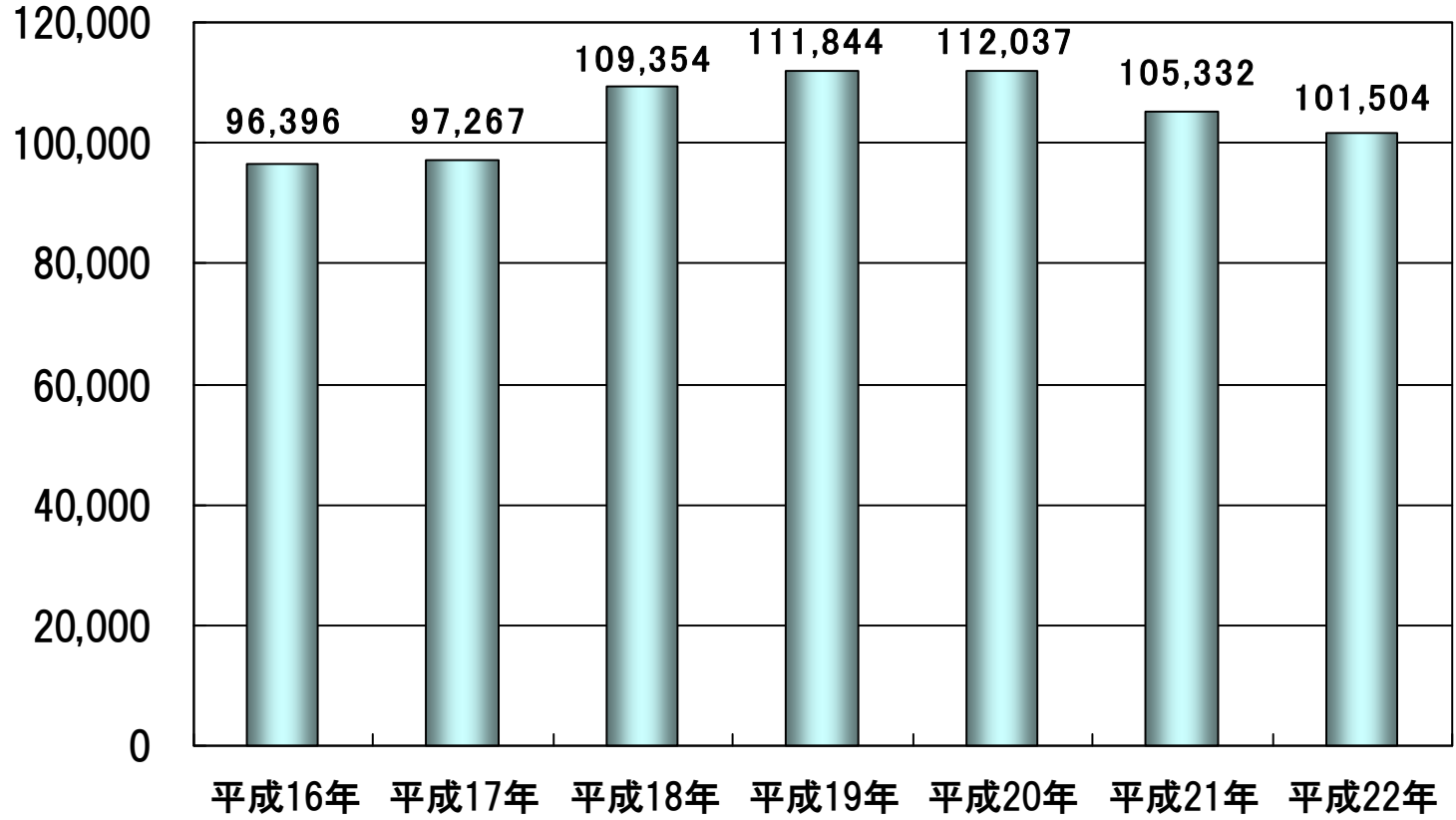
V. マーケット環境



情報サービス産業界のここ数年の動向

情報サービス業の売上高推移

単位: 億円



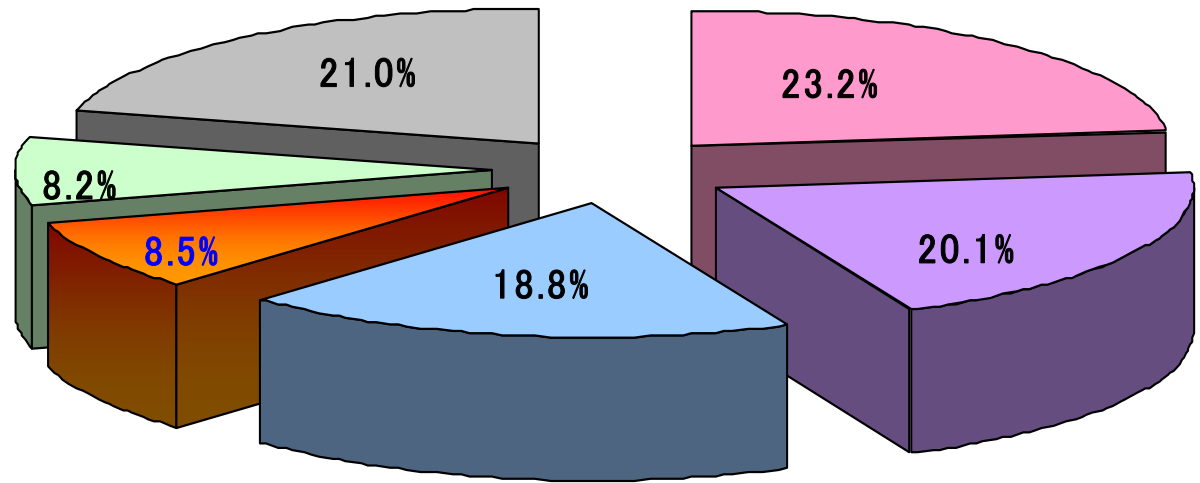
<経済産業省 特定サービス産業動態統計データより作成>



ソフトウェア業務への設備投資(産業別)

- 製造業
- 同業者
- 金融・保険業
- 公共
- 情報通信業 (同業者除く)
- その他

契約先産業別の年間売上高比

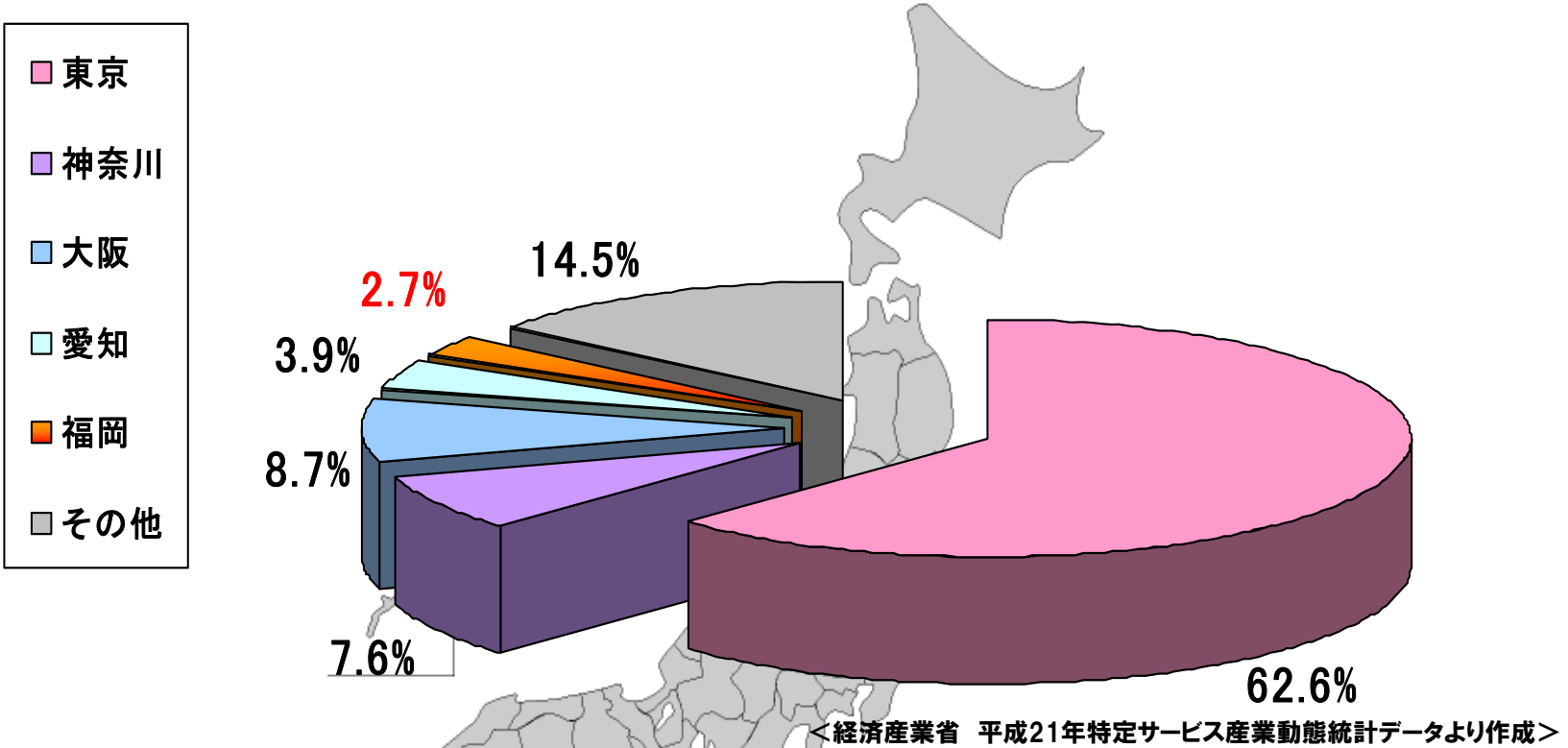


<経済産業省 平成20年特定サービス産業動態統計データより作成>

ソフトウェアの設備投資を行っているのは、下請への発注を除けば、製造業、金融・保険業、公共投資の割合が高い。



ソフトウェア業務の受注高(地域別)

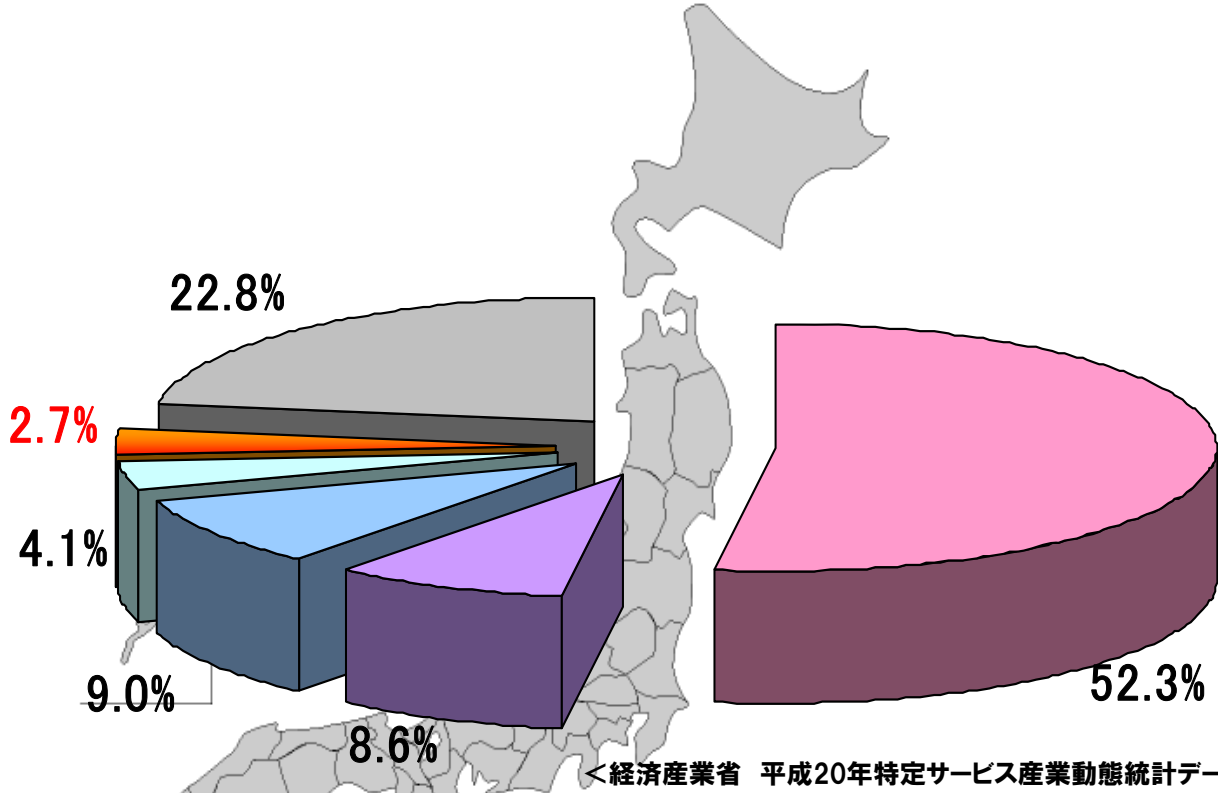


ソフトウェアの受注に関しても、首都圏(東京・神奈川)の企業が70.2%を占めており、首都圏への一極集中が伺える。



都道府県別就業者数の分布状況

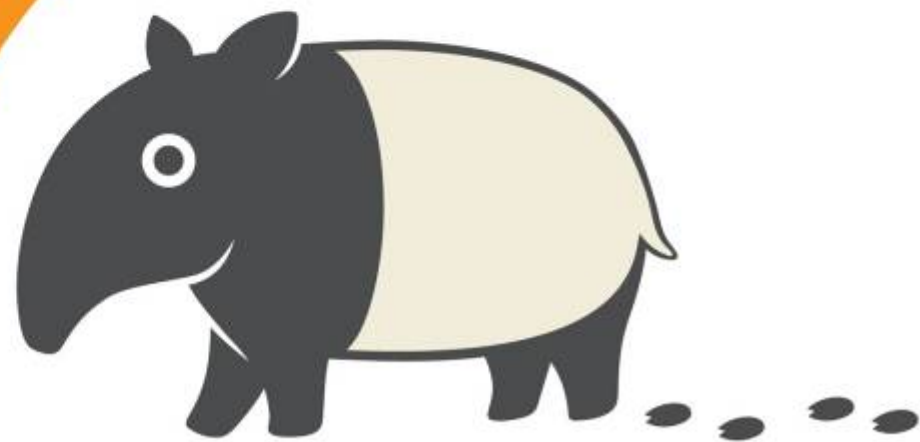
- 東京
- 神奈川
- 大阪
- 愛知
- 福岡
- その他



下請け構造はあるものの、ソフトウェアの受注高に対して、東京の就業者数が少ない。東京においては、ITエンジニアが不足していることが伺える。



VI. 中期經營計画



「Action Plan 2012」策定の背景

Media Five Co.



- ◆ 案件の首都圏集中
- ◆ IT関連投資の減少
- ◆ 下請け構造

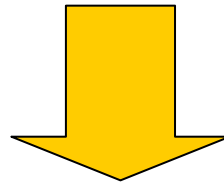
基本方針(営業力の強化)

- ① お客様が抱えているシステムに関する問題点に対して、規模と状況に応じた解決策を提案する。
- ② ITエンジニアの技術力・交渉力を高め、強固なITエンジニア集団を作る。
- ③ SI事業に関しては、重点顧客を中心に案件の深耕に取り組み、業容の拡大を行う。
- ④ スクール事業の福岡県における拠点拡大及び他地域展開を実現し、優秀な人材の確保を積極的に行う。



中期経営計画の修正の背景

- ◆ 企業の設備投資の抑制傾向の継続
- ◆ 東日本大震災が国内全体の経済動向に与える影響



IT関連の投資の抑制の懸念



基本方針(人材募集の強化)

- ① スクール事業(スクール本部)においては、緊急人材育成支援事業訓練又は同等の訓練等によるITエンジニア育成に注力し、優秀なITエンジニアを積極的に輩出し、人材資源を確保する。さらに、福岡地区・東京地区以外にも地方都市等への展開を行う。
- ② 新設したアウラ本部においては、スクール事業(スクール本部)での訓練生の確保をはじめとして、新卒・中途採用等人材の採用及び発掘に注力し、人材資源を確保する。



中期経営計画数値の修正

Media Five Co.

	平成23年5月期（計画）	平成24年5月期（計画）	平成25年5月期(計画)
売上高	860	1,250	2,000
売上総利益	279	420	710
営業利益	△36	50	150

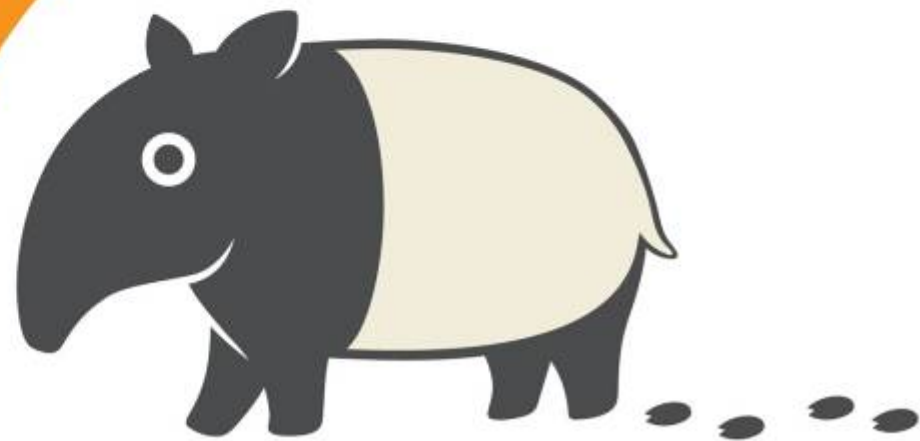


（単体）

	平成23年5月期（実績）	平成24年5月期（計画）	平成25年5月期(計画)
売上高	764	910	1,050
売上総利益	274	310	340
営業利益	△64	0	20
経常利益	△35	4	20
当期純利益	△51	2	15



VII. 今後のビジョン



ITプロ育成スクールの展開

Media Five Co.

福岡・東京あわせて5教室体制から7教室体制へ

ITプロ育成スクール



薬院校



天神校

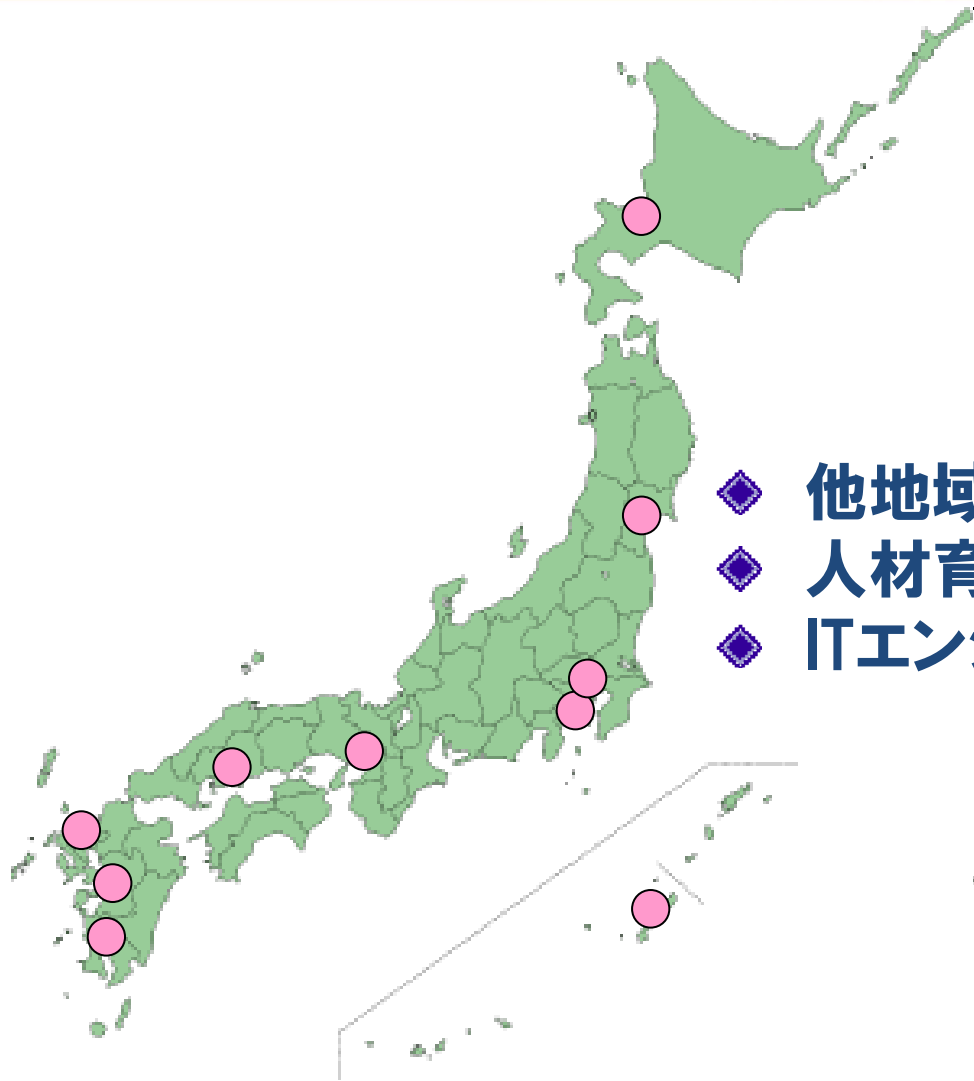


新橋校



ITプロ育成スクールの拠点拡大

Media Five Co.



- ◆ 他地域への展開
- ◆ 人材育成を行い、ITエンジニアを輩出
- ◆ ITエンジニアの活用(雇用)



株式会社匠工房の子会社化

Media Five Co.

株式会社匠工房の概要

商号	株式会社匠工房
代表者	代表取締役社長 土井 みき子
所在地	福岡県福岡市博多区博多駅東一丁目9番11号
設立年月日	平成9年4月1日
資本金	10,000千円
主な事業内容	建設設計、管理並びに施工、内装・外装工事
平成23年3月期業績	売上高:92百万円、経常利益:5百万円 当期純利益:4百万円



株式会社匠工房

- ◆ オフィスのIT環境の提案
- ◆ オフィスのネットワークの環境構築
- ◆ オフィスのIT機器の提案

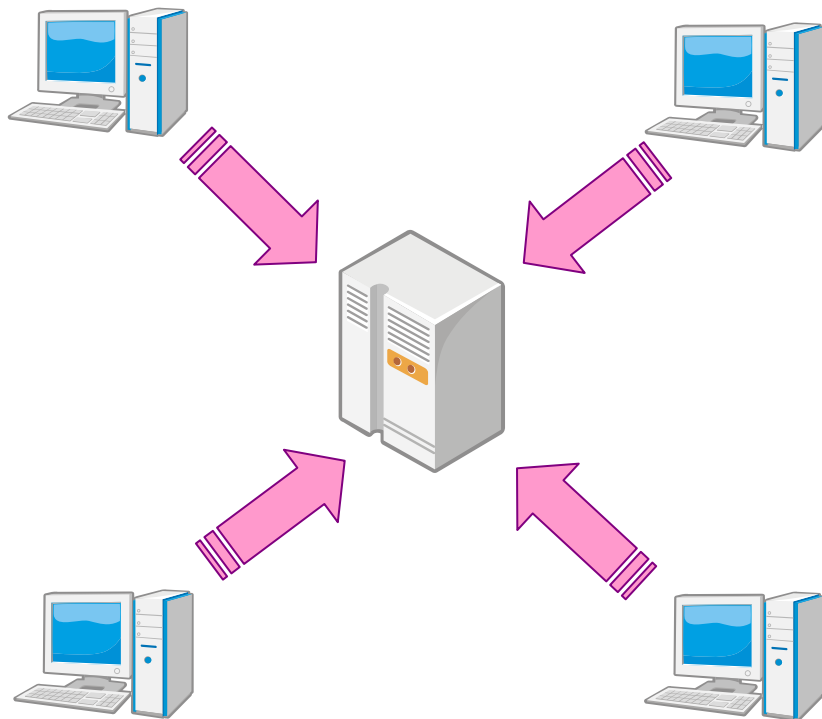
提案



- ◆ ネットワーク環境工事
- ◆ IT機器の販売
- ◆ Bakoon!!サービスの導入



◆ リモートバックアップサービス



◆ サーバーお預りサービス ◆ ホスティングサービス



地方のお客様(エンドユーザー)

雇用機会の醸成

SI事業

ソフト

地方経済の活性化

役に立つ
人材の育成

スクール事業



ご静聴ありがとうございました。



Media Five Co.

メディアファイブ株式会社

ご注意

本資料は事業内容等に関する情報提供を目的としています。当社株式への投資を推奨するものではありません。また、本資料に記載した予想や意見等は資料作成時点のもので、その正確性、完全性を保証、約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。

